

男子決勝戦評

チーム名		6		12		チーム名
菅谷東	41	12	VS	14	51	大洗
		11		14		
		12		11		
1Q	<p>白④がジャンプボールを取りゲームスタート。 白④がシュートに持ち込むも長身の青⑤がリバウンドからそのまま相手陣内にドリブルで持ち込みミドルシュートで先制。 白④、青⑤と交互に点を取り合い開始3分青⑤から白④がチャージングファールを取り、菅谷東がリズムをつかむかと思われたが長身の青⑤のディフェンスに阻まれ思うようにシュートが決まらず徐々に大洗ペースとなり1Q終了。</p>					
2Q	<p>青ボールからスタート 白⑦の鋭いドライブがファールを誘いフリースロー2本を決め先取するもすぐさま青④がドライブからシュートを決め追撃を阻止。 両チーム激しいディフェンスから得点を与えず、開始2分青が4ファールに。 白⑧のドライブで得点が動き出すもすかさず青④の反撃。 両チーム拮抗したゲーム展開の中残り1分で白がタイムアウトを取る。 リスタート直後に白⑩が得点、更に青のディフェンスに赤旗(1回目)が上がり白攻勢になるかと思われたがそのまま2Q終了。</p>					
3Q	<p>8点リードの大洗ボールでゲームスタート。 白⑥がフリースローを決め先攻。負けじと青④がシュートを決め反撃。 青⑤から1Qに続きチャージングファールを取り菅谷東がペースを掴もうとするも青④、⑤が連続でシュートを決めそれを阻む。 両チーム気合の入った攻守でシーソーゲームが続くも大洗が前半のリードを守ったまま3Q終了。</p>					
4Q	<p>11点ビハインドの菅谷東ボールで4Qスタート。 青⑤のシュートから得点が動き出す。 どちらのチームも3Q同様の気合の入った攻守でまさに一進一退の様相を繰り広げる。最後は白④のシュートを青④がブロック、そのままボールをキープされゲーム終了。 高さを生かし前半のリードを守り切った大洗が夏を制した。</p>					